

第4学年社会科学学習指導案

日時 平成17年11月30日(水) 5校時

児童 4年1組 男子19名 女子13名 計32名

指導者 田代 航

1 単元名 わたしたちの岩手県の様子 「葛巻町の人たちの暮らし」

2 単元について

(1) 教材観

子どもたちは、前小単元「県全体の様子」の学習において、岩手県の土地の様子や交通網の広がり、産業の様子について調べ、県全体の様子や特徴を学んできている。この学習を受けて、本小単元では、地形から見て特色のある葛巻町を取り上げ、土地の高さや気候、産業やまちづくり等を調べることを通して、人々が土地の高い地形条件や、冷涼な気候を生かして産業を興し、生活を営んでいることや、それらの産業を更に発展させたり、恵まれた自然を守る取り組みを行ったりしながら、特色あるまちづくりを進めていることをとらえることができるようにしていきたい。

葛巻町は、昭和30年に、岩手郡葛巻町、同江刈村、二戸郡田部村が合併し、葛巻町として発足された。古くから交通の要所として栄えてきたが、鉄道や高速道路などの交通網の未発達や生活条件の厳しさから人口が減少したり、産業が伸び悩んだりしてきている。しかし、現在は「北緯40度 ミルクとワインとクリーンエネルギーのまち くずまき」をキャッチフレーズに、意欲的に特色のあるまちづくりを進めてきている。

地理的には北上高地の北部に位置し、町の面積の86%が山林、原野という山村の町である。400メートルから800メートルの標高を持つ土地の面積が全体の約70%もあり、平地は馬淵川にそった狭い地域しかない。また、年間の平均気温が8℃、厳冬期の平均気温が-4℃、盛夏期の平均気温でも21℃と、岩手県の中でも冷涼な地域に属し、夏は過ごしやすいが冬は寒さが厳しい。降水量は県全体から見ると少なく、雪の降る量も目立って多いわけではない。

産業では、冷涼な気候と山がちな地形を生かして行う酪農が古くからさかんで、農業の生産額の80%を占めており、牛乳の生産量は岩手県全体の約30%を占めている。また、牛乳を使って、ヨーグルト、アイスクリーム、チーズなどの乳製品も数多く生産しており、県内だけでなく首都圏などにも出荷している。

最近では、平庭高原で収穫される山ぶどうを使ってワインやジュースの生産が行われ、売り上げを伸ばしてきている。住民自らもワインを飲んだり山ぶどうの栽培を請け負ったりとまちを挙げて新たな特産品を育てている。

また、袖山高原には、平成11年に3機の大型風力発電施設が設置され、太陽光発電、家畜から排出される糞尿・生ごみなどを利用したバイオガス発電などと合わせて、クリーンエネルギーの開発・利用が進められ、自然を大切にしまちづくりが行われている。

このように葛巻町は、山がちな地形や冷涼な気候などの自然条件を生かしてまちづくりを進めている地域である。子どもたちが、興味関心を持って追究できるテーマとなる社会的事象があり、岩手県の地形から見て特色のある地域として取り上げていくのに適した題材であると考えられる。

(2) 児童観

子どもたちは、前小単元の学習において、岩手県の全体の地形や交通、産業の概要について、地図帳や副読本で調べたり調べたことを白地図等にまとめたりする学習に取り組んできている。これらの学習を通して、子どもたちは、県内にはいろいろな地域があることや、県の土地の様子や交通網の広がり、

産業の様子にはそれぞれ関わりがあること、岩手県の産業や人々のくらしの様子は地形や気候等の自然条件と関わり合っていること等に気づいてきている。また、自分たちが住む久慈市以外の県内の他域の様子や人々のくらしについても関心を高めてきている。さらに、実際に見学に行けない地域であっても、各種資料を活用したり、インターネットで調べたり、電話やファックスでインタビューしたりするなどの学習の仕方を経験してきている。

これまでの学習では、地域に出かけ見学したり地域の人にインタビューしたりする学習や体験的な学習を行ってきており、子どもたちは、地域の社会的な事象について興味や関心を高め、進んで調査活動を行ったり、調べたことを発表し合ったりするようになってきている。県内の事例を取り上げるのは、本単元が始めてであり、前小単元の学習では、県内の地形や交通網、産業等について表面的なとらえになっている面が見られた。また、県内の他地域についての知識や生活経験も個人の差が大きい。

(3) 指導観

指導にあたっては、自分たちが住んでいる久慈市の地形的な条件と比べながら、山がちな地形を生かして葛巻町の人々がどのようなくらしやまちづくりを行っているか追究することができるようにしていきたい。

まず、単元の導入にあたっては、葛巻町の航空写真や葛巻町のポスター、特産品から、葛巻町の様子や人々のくらしについて予想させ、予想をもとにしながら、地形、気候、産業、まちづくり等の単元の中で追究していく内容や調べ方等について明らかにしていきたい。次に、葛巻町の人々のくらしを追究する上で基盤となる地形や気候について、また、葛巻町の主な産業である酪農について、さらに、「クリーンエネルギー」を中心としたまちづくりについて学習問題を設定し、一単位時間一解決型の追究活動を行っていききたい。最後に、小単元のまとめとして、葛巻町について分かったことや自分の考えをポスターやパンフレットにまとめる活動を行っていく。これらの活動を通して、葛巻町の地形条件や気候が産業やまちづくり、人々の生活と密接に関わり合っていることを具体的にとらえさせていきたい。

子どもたちが主体的に学習問題について追究し、葛巻町の人々のくらしの様子について正しくとらえ、自分なりの考えを持つことができるようにしていくために、以下の点に留意していく。

- ・ 子どもの興味・関心を喚起し、切実感のある問題意識を持つことができるような、問題場面を設定すること
- ・ 既習事項や学習経験、生活経験との関連を図りながら、学習問題に対する予想を行うことができるようにすること
- ・ 予想を検証する段階で、どの資料からどの予想を確かめることができるのか話し合う場面を大切にすること

3 単元の目標

- (1) 葛巻町に住んでいる人々の生活の様子について関心を持ち、葛巻町の土地の様子や気候、さかんな産業、まちづくりの様子等について意欲的に追究しようとする。 (関心・意欲・態度)
- (2) 葛巻町の産業やまちづくり、人々の生活の様子等を自然条件と結びつけて考えることができる。 (社会的思考・判断)
- (3) 葛巻町の特色について、調べるために必要な資料を収集したり、資料を効果的に活用して調べたり、調べたことを工夫して表現したりすることができる。 (観察・資料活用の技能・表現)
- (4) 葛巻町の地形や気候、産業の様子や、葛巻町の人々が自然条件を生かしながらまちづくりを進めていることを理解することができる。 (知識・理解)

4 指導計画（6時間）

段階	時数	学習内容	評価規準			
			社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断	資料活用の技能・表現	社会的事象についての知識・理解
問題の把握	1	葛巻町の航空写真やポスター・特産品をもとに、葛巻町の様子について調べる学習問題を設定し、調べる内容・方法を考える。	・葛巻町の航空写真やポスター等を観察して、葛巻町の地形や気候、産業や人々の暮らしについて興味・関心を持つ。	・葛巻町の航空写真やポスター等から、葛巻町の地形や気候、産業や人々の暮らしについて予想することができる。		
問題の追究	1	葛巻町の土地の様子や気候の特色について調べる。			・地図やグラフをもとに、葛巻町の土地や気候の様子について調べることができる。	・葛巻町の土地の様子や気候の特色がわかる。
	2	葛巻町で酪農がさかんになった理由や、酪農をさかんにするために町の人々が行ってきた努力について調べる。		・酪農がさかんになってきた理由について、葛巻町の地形や気候条件と関連づけながら考えることができる。		・酪農がさかんになってきた理由や、酪農をさかんにしようとした農家の人たちの努力を理解することができる。
	3	おいしい牛乳をつくるために、酪農家の人たちがどのような工夫をしているのか調べる。			・写真や資料をもとに、酪農家の人たちの仕事の様子について調べることができる。	・酪農家の工夫や努力、悩みを理解することができる。
	4	葛巻町の自然を生かしたまちづくりについて調べる。		・資料をもとに、葛巻町がどのような町を目指しているのかについて考えることができる。		・葛巻町では豊かな自然を生かしたり、自然からエネルギーを取り出したりしながらまちづくりを進めていることを理解することができる。
まとめ	1	小単元をふり返り、葛巻町を紹介するパンフレットやポスターをつくる。	・これまでの学習内容を生かして、葛巻町の特色を意欲的に伝えようとしている。		・葛巻町の特色を分かりやすく工夫して表現することができる。	

5 本時のねらい

(1) ねらい

- 葛巻町で酪農が盛んになってきた理由について、町の地形や気候条件、町の人たちの工夫や努力と関連付けながら理解することができる。

(2) 本時の評価の観点と具体の判断規準

評価規準	十分満足 (A)	おおむね満足 (B)	努力を要する児童への支援	評価方法
<p>思考・判断</p> <p>葛巻町の地形や気候条件、人々の働きと関わらせながら、葛巻町で酪農が盛んになってきた理由について考えることができる。</p>	<p>資料や既習事項・生活経験等を根拠にしなが、葛巻町で酪農が盛んになった理由について具体的な事例を挙げながら予想できる。</p>	<p>資料や既習事項・生活経験等を根拠にしなが、葛巻町で酪農が盛んになった理由について予想できる。</p>	<p>葛巻町のどんなところが酪農に適しているのか、葛巻町の地形や気候条件を想起させながら考えることができるようにする。</p>	<p>ノート・発言</p>
<p>知識・理解</p> <p>葛巻町で酪農が盛んになってきた理由や、酪農を盛んにしようとした人々の工夫や努力について理解することができる。</p>	<p>学習のふり返りで、葛巻町で酪農が盛んになってきた理由について、葛巻町の地形や気候条件、人々の努力と関わらせながら記述するとともに、そのことに対する自分の感想を記述できる。</p>	<p>学習のふり返りで、葛巻町で酪農が盛んになってきた理由について、葛巻町の地形や気候条件、人々の努力と関わらせながら記述できる。</p>	<p>教師と一緒に、葛巻町で酪農が盛んになった理由が分かる資料について確認できるようにする。</p>	<p>ノート・発言</p>

(3) 展 開

段階	学 習 活 動	時間	指導上の留意点 (・) と評価 ()	資 料 等
問題の把握	<p>1 小単元の第1時を想起し、葛巻町では酪農が盛んであることを確かめる。</p> <p>2 グラフから乳牛の数の移り変わりや主な生産物の生産額を調べ、本時の学習問題を設定する。</p> <p>(1) グラフを読み取り、分かったことや気付いたことを発表する。</p> <p>(2) 一人一人の持った疑問や学習してみたいことを発表したりまとめたりしながら本時の学習問題を設定する。</p>	10	<ul style="list-style-type: none"> 町のポスターや道路の看板を提示し、葛巻町では酪農が盛んであることを想起できるようにする。 グラフの表題、縦軸、横軸の表すものを明らかにしながら、グラフを丹念に読み取ることができるようにしたい。 グラフにはマスキングをして乳牛の数の移り変わりについて驚きを持たせたい。また、葛巻町が東北一の酪農のまちとなっていることも伝えることにより、問題意識を高めていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 町のポスター 道路の看板 グラフ「乳牛の数の移り変わり」 グラフ「主な生産物の生産額」
	葛巻町でらく農がさかんになってきたのはなぜだろう。			

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">問題の追究</p>	<p>3 葛巻町で酪農が盛んになってきたわけについて予想し、話し合う。</p> <p>(1) 予想をノートに書く。</p> <p>(2) 予想を発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 気候や地形に関わって ・ 人々の工夫や努力に関わって <p>4 資料をもとに、葛巻町で酪農が盛んになってきたわけについて調べる。</p> <p>(1) 調べる内容や方法について話し合う。</p> <p>(2) 資料をもとに、葛巻町で酪農が盛んになってきたわけについて調べる。</p> <p>涼しい気候が酪農にあっていること</p> <p>酪農に適した広い土地があること</p> <p>酪農を盛んにするための人々の工夫や努力について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 乳牛の飼育の研究 ・ 牧場や牧草地を広げる取り組み ・ 葛巻の酪農のPR活動 	<p>30</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個々の予想の根拠を明確にしながら発表させるようにする。また、出された内容は板書で整理していく。 ・ つまずいている子どもには、葛巻町のどんなところが酪農に適しているのか考えさせ、学習問題に対する予想を持つことができるようにする。 <p>葛巻町の地形や気候条件、人々の働きと関わらせながら、酪農が盛んになってきた理由について考えることができたか。【思：ノート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 予想の板書をもとにしながら、酪農と葛巻町の地形や気候の特徴との関係や町の人々の取り組みについて調べていけばよいことを確認する。 ・ 町役場のおじさんの話から、酪農が葛巻町の気候条件や地形条件に適した産業であることを捉えることができるようにする。また、気温のグラフや葛巻町の航空写真・地形図も示しながら、葛巻町の気候条件や土地の様子が酪農に適していることを確かめることができるようにする。 ・ 町役場の人の話から、酪農が葛巻町の気候や地形に合っているだけでなく、酪農をさかんにするための町の人々の様々な努力があったことに気づかせていきたい。 ・ 写真資料「牧場をつくる工事」「乳牛の飼い方の研究」「酪農を知ってもらおう活動」をもとに、酪農を盛んにするための町の人々の努力について具体的にとらえることができるようにしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町役場のおじさんの話 ・ 写真「飼い方の研究」 ・ 写真「海外研修」 ・ 写真「牧場を作る工事」 ・ 資料「牧草地の面積の変化」 ・ 写真「スーパーマーケットでのPR活動」 ・ 写真「葛巻高原牧場祭り」
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">まとめ</p>	<p>5 本時の学習のふり返り、次時への学習の方向をつかむ。</p> <p>(1) ふり返りをノートに書く。</p> <p>(2) ふり返りを発表し合う。</p>	<p>5</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 分かったことや感想をノートにまとめ発表できるようにする。 <p>酪農が盛んになってきたことの原因や、酪農を盛んにしようとした人々の工夫や努力について理解することができたか。【知：ノート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 酪農家の仕事の様子を調べていくことを知らせ、次時への方向付けを図りたい。 	